

『アナリストのための財務諸表分析とバリュエーション (原書第5版)』  
(ISBN 978-4-641-16523-6)

訂正情報 (2020年12月21日更新)

下記の通り、本書の一部に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

- 第2章 54ページ 本文3行目
  - (誤) 18章
  - (正) 16章
- 第3章 66ページ Box3.1 15行目 (数式右辺の分母)
  - (誤) 株式の簿価
  - (正) 株主持分の簿価
- 第3章 98ページ Box3.5 下から15行目
  - (誤) 約0.9%
  - (正) 約0.9 [%をトル]
- 第4章 115ページ 例4.3 表の最左列11行目
  - (誤) 売掛金の増加 (減少)
  - (正) 売掛金の減少 (増加)
- 同上, 12行目
  - (誤) 棚卸資産の増加 (減少)
  - (正) 棚卸資産の減少 (増加)
- 同上, 13行目
  - (誤) 前払費用及びその他の流動資産の増加 (減少)
  - (正) 前払費用及びその他の流動資産の減少 (増加)
- 第5章 135ページ 下から4行目
  - (誤) 株主価値は
  - (正) 株式価値は
- 第8章 239ページ 1~2行目
  - (訳注を追加) 彼らはまた、株式発行および買い戻しについて間違った考え方を  
持っているかもしれない<sup>4)</sup>。  
訳注<sup>4)</sup> ここでの間違った考え方とは、ストック・オプションの行使による  
既存株主の価値の希薄化を、株式の買い戻しによって埋め合わせることが  
できるという考え方である。経営者がそうした間違った考え方によって  
自社株買いを行うと、既存株主は2度損失を被ることになりかねない。  
具体的には、株価が内在価値を超えて高騰しているときに、経営者が  
ストック・オプションを行使し、さらに、発行済株式数を調整するために  
株式の買い戻しを行うと、既存株主は、ストック・オプションの行使による  
株式価値の希薄化

に加え、高騰した価格での株式買い戻しによる価値の喪失を被ることになる。

- 第9章 260 ページ 例 9.7 表の下から 2 行目
  - (誤) 非支配 (少数) 株主持分
  - (正) 非支配 (少数) 株主利益 (損益)
- 第9章 270 ページ 下から 5 行目
  - (誤) その総資産で事業資産や事業負債を標準化
  - (正) 事業資産や事業負債をそれぞれの総額で標準化
- 第9章 274 ページ 3 行目 (数式中辺の分子)
  - (誤) 11,77
  - (正) 1,177
- 同上, 分母
  - (誤) 1,1461
  - (正) 11,461
- 第10章 284 ページ Box10.1 方法 2 の数値 1 行目
  - (誤) 正味金融収益 (2010) | | 4
  - (正) 正味金融収益 (2010) | | (4)
- 第10章 292 ページ 13 行目
  - (誤) 投資活動
  - (正) 財務活動
- 第11章 304 ページ 下から 6~7 行目
  - (誤) RNOA が、ROCE をより高く「梘子を使って押し上げる」あるいは「ギアを上げる」のである。
  - (正) RNOA が「梘子の原理で押し上げられ」あるいは「高速ギアにシフトアップされ」、より高い ROCE を生み出すのである。
- 第11章 315 ページ 表 11.2 出所
  - (誤) スタンダード&プアーズ
  - (正) スタンダード&プアーズ
- 第11章 316 ページ 下から 5 行目
  - (誤) その他の項目控除前の
  - (正) その他の項目考慮前の
- 第11章 321 ページ Box11.5 1 行目
  - (誤) 売上債権回転率を 6.85 から
  - (正) 売上債権回転率を 6.87 から
- 同上, 3~4 行目
  - (誤) 平均売掛金を 13 億 9500 万ドルから 12 億 550 万ドルに減少させ、全体の資産回転率を 3.21 から 4.19 に上げ、RNOA を 30.6 %から 40 %に上げるだろう。
  - (正) 平均売掛金を 27 億 6700 万ドルから 12 億 550 万ドルに減少させ、全体の資産回転率を 3.21 から 4.30 に上げ、RNOA を 30.6 %から 41.1 %に上げ

るだろう *d*。

訳注 *d*) 売上債権回転率と平均売掛金は、252 ページ例 9.3 のナイキの組み替え後の貸借対照表をもとに計算し、原書の数値を修正した。この Box 内のドライバーも、その修正値をベースに再計算されている。そのため、表 11.3 の数値とは異なることに注意されたい。

- 第 12 章 350 ページ Box12.5 中ほどの数式 2 行目・左辺

(誤)  $RNOA_{1996}$

(正)  $ROCE_{1996}$

- 第 12 章 355 ページ 表 12.3 1~2 行目

(誤)	PBR
	高   正常   低
(正)	PBR
	高   正常   低
	$(\overline{RE} > 0)$   $(\overline{RE} = 0)$   $(\overline{RE} < 0)$

- 第 12 章 361 ページ 演習問題 5 問題文 1 行目

(誤) 税引後事業利益

(正) 税引前事業利益

- 第 13 章 387 ページ Box13.3 2~5 行目

(誤) この 2.19 ドルの差は、その後の価格の上昇ではなく、8 月の 36.00 ドルの自社株買いから、自社株買いに参加しなかった株主が獲得した利得である。それは自社株買いに参加した株主 (43.33 ドルではなく 36.00 ドルで売却した) が、売却されなかった株式との間で広がったスプレッドによって被った損失でもある。

(正) この 2.19 ドルの差は、8 月に 43.33 ドルではなく 36.00 ドルで行われた自社株買いから生じた、自社株買いに参加しなかった株主の利得である。それは、残りの発行済株式に利得として拡散される、自社株買いに参加した株主の損失 (43.33 ドルではなく 36.00 ドルで売却したことで生じた) でもある。